

松友会だより

編集 松友会
新聞編集委員



受け止めたものを
正しく活かしているか
清永 辰生

五月ははじめの立夏から六月ははじめの芒種までが初夏で、春の柔らかい日差しから強い日差しになり、明るい太陽、野の草花をそよがせる風、初夏の空は明るくたくましい男性的なイメージが強い、又五月第二日曜日の母の日は、赤いカーネーションにそえて、母の好みの品を贈る。うれしそうな母の顔は贈る側にとっても喜びでもある。

子供が親や先生に向かって、「どうして勉強する必要があるの?」と聞くことがあります。その質問に、「いい学校に進んで、いい会社に入るため」とか「将来役に立つから」と答えたとしても、なかなか子供の心には響かないでしょう。困った親が「あなたの為なんだから、文句を言わないの」などと答えるようです。

考えてみると大人にしても、「足し算、引き算、掛け算、割り算は生活に役にたつものの、微分、積分を勉強しておいてよかった」と思う人は、あまり多くないかもしれません。勉強についての考え方はさまざまで、その一つとして問題解決能力を養うため、という意見があります。

子供のときの「教科書に書いてあることを学んで覚え、問題集やテストを解き、正解をみつける」という勉強は大人になってから、「知識を身につけ仕事を進め、きちんと結果を出す」と一緒だといふのです。

仕事にトラブルはつきものですが、それを解決するために役立つのは、教科書の内容そのものではなく勉強で経験した「問題を解く能力」を磨いたことでしょう。それを子供に説明するのは、難しいものです。

空海は次のように語っています。「教法はもとよりのたがうことなし、牛と蛇との飲み水の如し、牛が飲めば蘇乳となり、蛇が飲めば毒刺となる」。仏教の教えには食い違いがない、牛と蛇が水を飲んだときのようなものだ。仏教の正しい教えも、聞く人によって、まったく違つたものになる。

乳にするか毒にするかは、それぞれの心の在り方によって決まると考えていいでしょう。同じ状況に豊かな実りにする人もいれば、活かせない人もいるわけです。自分が受けとめたものを正しく活かせるようにしたいものです。

暮らしの中の仏教語 「二枚舌」

平気な顔をして、矛盾したことをいったり嘘をつくことを「二枚舌」といいます。この語源は仏教用語の「両舌」にあるといわれています。「ひとつの口から相反する言葉や事実ではない言葉が飛び出すのは、舌が二枚(二種)あるからに違いない」という考え方に由来します。ただし厳密にいうと、両舌は「二人に異なったことをいひ、仲を裂いて争わせる」という意味で「殺生」と同じレベルの悪行とされ、仏教徒が避けるべき「十悪」のひとつに数えられています。

【五月度の主たる行事のご案内】

四月、皆様のご協力により総会も無事終了し、新年度がスタート致しました。本年も楽しく会を進めて参りますので、皆様のご協力、よろしくお願い致します。新緑の候、なんとなくホットしています。感染症がまだまだ蔓延しています。端午の節句、鯉のぼりの雄大な姿にんだか「お祈り」するおもいです。

☆月例会 五月十一日(土)
午後一時より開催します。

内容は、森田インストラクターによる楽しい催しです。お楽しみに!

☆六月の月例会は六月八日(土)
午後一時より開催します。

内容は、斯波幸子(しばさちこ)様による「みなさまと共に楽しくマジックショー」です。お楽しみに!

☆五月誕生月の皆さんです。
紙面にてお祝い申し上げます。

子枝代史子
英千武哲育子
小倉正田中田
米田中田稲以上5名
(敬称略)

【伝言板】

☆再生资源回収
五月九日(木)宝塚 川西地区
五月二十八日(火)川西地区
皆さん、いつもご協力をいただき有難うございます。
引き続きよろしくお願い致します。

※松友会では、皆様からの原稿をお待ちしております。雑感、紀行文、短歌、俳句等
お寄せ頂ければ嬉しく思います。
お近くの班長さんまで、お届けください。
お待ちしております。

地域の皆様のご協力
有難うございます。
今後も再生资源の回収に
ご協力お願い致します。

月別再生资源回収成果	
令和 6年3月分	
新聞紙	1,010 kg
雑誌	300 kg
布類	140 kg
段ボール	270 kg
合計	1,720kg
回収奨励金 (@ 円)	円

ご協力ありがとうございました。

5月 行事予定

(予定表は変更される場合があります)

日	曜	行事	時間
4	土	カラオケ	13:00~16:00
7	火	健康体操	10:00~11:30
8	水	まつがおかサロン	13:00~15:00
9	木	再生资源回収(宝塚・川西)	~8:30頃
11	土	月例会	13:00~15:00
14	火	麻雀	13:00~16:00
18	土	カラオケ	13:00~16:00
21	火	健康体操	10:00~11:30
22	水	三味線伴奏	13:30~14:30
25	土	まつぼっくり	10:00~11:30
25	土	編集会議	14:00~15:00
28	火	再生资源回収(川西)	~11:00頃
28	火	麻雀	13:00~16:00

川副様

頑張ろう！ 関西

先ごろ発表された政府資料によれば、2020年の人口を100とした場合の、15年と30年後の東京、大阪の人口指数はそれぞれ、

2035年	2050年
東京 102%	102.5%
大阪 92.4%	82.2%

因みに、東京のみが人口増で、それ以外の各都道府県は、すべて人口減と予想されている。このままでは、関西沈没である。今年の大河ドラマは、長編「源氏物語」の作者紫式部を題材とする「光る君へ」である。今から約千年前の京都を舞台としている。そんなに前だったら、裸に素足で狩りをする未開人が彷徨した時代を想像する向きもあるが、さにあらず既に、天皇を元首とし、藤原氏一族をトップとする官僚政府がにぎにぎしく日本国を統治していたのである。中国や朝鮮との外交関係を樹立し、文化面では、万葉漢字一辺倒から脱し、漢字仮名交じりの日本語が出来上がっていた。一二単の正装に飾った貴婦人らが御所内をきらびやかに歩いていた。

以後、明治維新を迎えるまで、関西は文字通り政治、経済、文化の中心地位を謳歌していた。大阪はかつて「東洋のマンチェスター」と呼ばれた。1935年の大阪の人口は211万で東京を上回っていた。繊維産業が集積した大阪は、東アジアを代表する工業都市であった。文化庁も京都移転後、2年目に入る。来年は、「大阪・関西万博」が開幕する。「進取の気性に富む関西」と言われた時代を取り戻したいもの。不慮の死を遂げた作家三島由紀夫さんも大の関西ファンであったようである。三島の朝ドラに出てくるブギウギの笠置シズ子の歌や踊りを、関西の伝統的なバイタルフォースを受け継ぐ芸だと評していた。

彼曰く、「明治以来、東京は関西に圧倒的に負けている。エネルギーを東京に供給しているのが関西だ。」と。宝塚の小林二三、大阪の吉本興業がよい例であるという。そういえば、三島の大河ドラマや朝ドラは関西を背景にした作品が多い。

村田製作所、京セラ、シャープ、小野薬品、島津製作所、パナソニックなどに見るように、ノーベル賞受賞者や受賞有力候補といわれる研究者が関西に拠点をおいている。

今や、インスタントラーメンは世界を制覇した。他方万博を契機に、2030年に大阪をアジアナンバーワンの国際観光都市にしよう、大阪が観光、食、文化、エンタメの分野で日本をリードし、大阪から日本を変えて行こうとの動きもある。是非そうな

って欲しい。昨年、プロ野球では、阪神、オリックスが日本シリーズを争い、Jリーグではピッセル神戸が優勝した。ファイト、関西！

終わり 和泉

川柳 (六首)

孫が聞く 膝が笑うと どんな声
お迎えて 言うなよケアの 送迎車

子は巣立ち 夫は旅立ち 今青春

耳遠く オレオレ詐欺も 困り果て

改札を 通れずよく見りや 診察券

年重ね もう食べられぬ 豆の敷

(作者不明)

ウォーキング大会

柏木 スミ子

令和6年3月21日に、宝塚市老連主催のウォーキング大会が開催されました。当日、朝起きると屋根一面、真白に雪が積もっており、開催出来るのか心配でした。当日のキャンセルもあって、松友会メンバー5名の少人数での参加になりました。

コースはあいあいパークの新池公園↓宝塚市平井地区の街歩き↓最明寺川沿いの山道歩き↓山門辰己橋↓井植山荘↓満願寺駐車場までのウォーキングです。

集合場所の新池公園に着くと、心配していた天候も晴れて、雪などまったくなく、元気にラジオ体操をして、11組が10時にスタートしました。今回は見学するところも無く、ただひたすら歩くのみのウォーキングです。

街並みに咲いた木蓮を右手に見て、おしゃべりをしながら目的地まで頑張るのみ。足元の悪い山道を歩いていると、ウグイスがホーホケキョ・ホーホケキョときれいな声で鳴いて、私達を歓迎してくれました。今年初めてのウグイスの鳴き声を聞き、森林浴も感じ心が洗われました。

都会育ちの私には、少し足を伸ばすだけで、こんな素敵な景色が見られるなんて、とても贅沢な事です。寿命が少し延びるのでは、と思いました。自然あふれる環境の中において幸せを感じます。少し足が疲れたと思ったら、満願寺駐車場到着です。4km、1時間半のウォーキングでした。



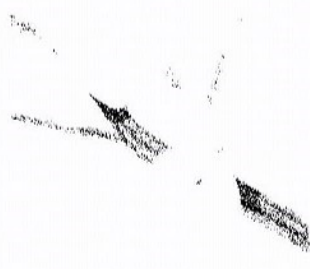
人生は思いこみ

黒田 千代子 (九九歳)

古い時代の歌に次のような内容の歌があります。「茶店の前でパンパンと手を打てば、鳥はおどろいて飛び去る。池の鯉はエサだと思つて寄ってくる。茶店の人はお客だと思ひ、茶を持って出てくる。」手をたたかなくとも受取る側によつてまったくちがった意味になるのです。人生の半分以上は「思いこみ」でできているとも言われます。マイナスに思えるようなことでも、受取る側の感じ方次第で、プラスに変えていけるのではないのでしょうか。

ガンをわずらつて苦しい闘病生活をおくった人の言葉です。「家族つてありがたい。健康つてありがたい。自分を大事に一日を大切に」

以前は漠然と生きてきたが、「今は生きる事がうれしくて仕方がない。自分にとって病氣は宝だ」と語っています。



編集後記

誕生日に生まれ故郷に旅行してきました。なつかしい風景は変わらなず、人が少なくなっているのにびっくりでした。春のやわらかい風に吹かれ、外に出ることをおすすめます。松友会だよりに皆様の近況等お寄せ下さい。

T K